

国立アスンシオン大学医学部 大学病院  
Hospital de Clínicas de la Facultad de Ciencias Médicas  
Universidad Nacional de Asunción

**1. 概要**

住所: Avenida Mariscal López e/Cruzada de la Amistad - Campus Universitario,  
San Lorenzo

Tel.+ 595-21-683930/2

URL: <http://www.med.una.py/index.php/hospital-hc>

**管轄機関:** 国立アスンシオン大学 医学部

主な業務内容: 国立アスンシオン大学医学部の Hospital de Clinicas (大学病院)は、母子センターと同様、人材の医療訓練と研究の中核となる機関である。

国内においては、最大の総合病院であり、レベル IV の保健医療サービスを提供し、基礎レベル、基礎補完レベル及び専門レベルの診断と治療を実施する 600 床の総合病院である。

**2.過去の協力実績**

2.1. 国立アスンシオン大学病院 日本・パラグアイ友好母子センター建設計画 I 及び II  
(無償資金協力)

E/N 交換文書署名: 1998 年 5 月 (I 期)、1999 年 7 月 (II 期)

工事完了・引渡し: 2000 年 7 月

内容: 国立アスンシオン大学病院は、教育病院であるとともに第 4 次レファラル病院としての機能も果たしている病院であるが、その施設は 115 年を越える建物で施設・機材は老朽化しており、その機能を十分果たせない状況にあった。本プロジェクトは、旧市街地の狭い敷地の中にあるアスンシオン大学病院を、アスンシオン大学サンロレンソキャンパスに移転するというパラグアイ側の中・長期計画に合わせて、全科を持つ大学病院の内、産科、婦人科、小児科を統合した母子センターをサンロレンソの国立アスンシオン大学のキャンパス敷地内に建設・移転するものである

協力金額: I 期 13.78 億円、II 期 4.2 億円



2.2. アスンシオン大学病院移転・整備計画 I 及び II（無償資金協力）

E/N 交換文書署名：2006 年 6 月（I 期）、2007 年 8 月（II 期）

工事完了・引き渡し：2008 年 3 月（I 期）、2009 年 2 月（II 期）

国立アスンシオン大学病院は、教育病院であるとともに第 4 次レファラル病院としての機能も果たしている病院であるが、その施設は 115 年を越える建物で施設・機材は老朽化しており、その機能を十分果たせない状況にあった。パラグアイ政府は 1996 年に、大学病院を市内中心部のサホニア地区から新市街のサンロレンソ地区に移転及び整備することを決定し、1997 年から 99 年度にかけて母子センターが建設され、産婦人科及び小児科部分が移転した。その後もアスンシオン大学の移転計画は継続されており、パラグアイ側は病棟、リハビリテーション部門建設等の努力しているところであるが、資金が十分でないこともあり、「アスンシオン大学病院移転及び整備計画」を策定し、日本国に無償資金協力を要請した。日本政府はこの要請に対して、管理・外来診療棟、検査・画像診断棟、救急診療・ICU 棟、機械棟の建設及び各施設への医療機材、手術棟の建設、及び同施設に関連する医療機材の整備を行うための資金を供与する。

協力金額：I 期 13.7 億円、II 期 4.19 億円

3. 上記以外の協力

地域別研修「病院管理」研修員受入。